

特別委員会活動報告

北上川治水対策特別委員会

当委員会では、9月1日委員会を開催し、委員が把握している治水対策関係団体の活動状況についての、情報交換をしました。現在、北上川流域では、19年の災害時の工事4ヶ所が着工されており、また今後、計画されている前沢地域では、赤生津堤防が着手することにより右岸の堤防、白鳥川堤防、岩堰川関係及び淡水防除等々の協議が山積されています。黒石地域



稲瀬地区水防訓練（江刺区）

二渡堤防については、漏水防止工事の矢板打込み工事が着手されており、以前からの計画である二渡地区の基盤整備が着工されます。基盤整備と連携の中、堤防整備の計画もあります。全体的には一ノ関遊水地事業の平泉小堤整備が進むなか上流整備も加速されます。平泉小堤と連携しながら赤生津堤防に接続されます。各団体がそれぞれの立場から共通の認識を共有しながらの活動が大事です。北上川の治水対策については現在施工中である災害復旧事業の継続的な調査のほか、一ノ関遊水地事業の進捗状況も含め市全体に係る、今後の治水対策の調査及び、委員会としてのさらなる活動が求められております。

競馬事業調査特別委員会

競馬事業調査特別委員会は議会閉会中の7月16日及び9月議会開会中の9月19日に開催し、岩手競馬の現状と今後の見通し等について協議しました。

7月16日の委員会には、市長、

副市長及び担当職員のほか、県競馬組合から常勤副管理者等の出席を求め、平成20年度の発売実績や収支計画の見直し、民間委託拡大に関する企画提案募集の取り組み状況などについて調査しました。

県競馬組合の報告で、今年度の第1期（4月5日～5月26日）の発売実績は、計画比92・2%であり、経常損益が4600万円のマイナスとなったこと。このことから、収支計画の見直しを行い、発売収入を当初より20億8800万円減額するものの、経費の削減等により、年度末の経常収益で3000万円の黒字となる見通しが示されました。

これに対し委員から、他場の受託発売や一場開催などについて、活発な質疑が行われました。

9月19日の委員会は、市長、副市長及び担当職員並びに当市議会選出の県競馬組合議員より、県競馬組合議会の状況や民間委託交渉の現状と問題点などについて報告を受けました。

岩手競馬は今年度も後半戦に入っており、関係者等の努力と計画の見直しで、発売状況は計画比で若干上回っています。しかし、対前年比は88・8%と依然厳しい状況にありますことから、今後、

民間委託のあり方や経営改善について調査、検討する必要がある、継続して調査することといたしました。



いざ出走！

地域医療調査特別委員会

当特別委員会は6月27日、胆沢病院の松本院長を庁舎7階委員会室に招き、胆沢病院の現状と今後の地域医療についての考えを伺いました。以下要約します。

「胆沢病院医師の月超過勤務は平均40時間以上。医師によっては百時間超の限界を超える厳しい医師不足状況にあり、その原因としては、医師のブランド病院等への